



甲斐市立玉幡小学校 令和元年度 学校だより 第2号

# チーム玉幡

平成31年4月23日  
学校長 丸茂和也

## ♪ 1年生を迎える会 ♪

4月16日（火）に1年生を迎える会を行いました。児童会本部や6年生が中心となり、かもつれっしゃゲームを始めとする楽しい会を行いました。1年生もとても上手にあいさつができて、みんな元気に活動しました。2～6年生も温かい目で1年生の面倒をみていました。また6年生から一人ひとりに手づくりのメダルをかけてもらい、とてもうれしそうでした。そして1年生もいっしょに校歌を全校みんなでのびのびと歌うことができました。学年はじめのあわただしい時期ですが、ほのぼのとした時間を過ごすことができました。



6年生といっしょに入場



校歌を全校で



かもつれっしゃゲーム



プレゼント

## 授業参観・PTA 定期総会・学年総会ありがとうございました

4月19日（金）に行われました授業参観，PTA総会，学年PTA総会には多数の保護者の皆様にご参加頂きましてありがとうございました。授業では、いつもとは違う雰囲気の中ですが、子どもたちは元気に学習に向かい、発言をしていました。PTA総会では、用意した席のほとんどが埋まる中、昨年度の事業報告や会計報告，また令和元年度の役員承認や事業計画案，予算案が審議され承認されました。今年度においても，さらに充実した活動が行われますようよろしくお願いいたします。続いて行われた学年部会では，学年経営や学習，生活面についての説明，親子活動などについて話し合いました。子どもの笑顔のために，学校と家庭で連携して，学力の向上，規則正しい生活習慣等の定着を図り，よりよい学校生活が過ごせるようぜひよろしくお願いいたします。



今年初めての授業参観，みんないっしょうけんめいに，まなんでいます。

## 自己肯定感をほぐくむ

『保護者の皆様に一つ学校と連携していただきたい、お願いしたいことがございます。それは、毎日1回でもいいので、お子さんに「ありがとう」と言っていたくことです。

学校は学力であったり、人間性であったり、社会性であったり社会を生き抜く力を身につける場です。それはすべて「人」との関わりが基本です。そんな人との関わりの中で子どもたちが自分らしさを発揮し、人と関わっていくために一番大切なことは「自己肯定感」をもつことと考えます。これは学校経営方針実現のための具体的手立て6つの柱の3番目にもあります。

「自己肯定感」とは、自分には価値がある、自分は愛されているというように自分の価値や存在意義を前向きに受け止める感情や感覚を指し、自分のことが好きで、今の自分に満足している子どもの心や行動のあり方を示します。

「自己肯定感」が高まると、自分のことを大切に思い、周りからも大切にされていると感じているため、前向きにチャレンジしたりあきらめないうで向かっていったりすることができます。また人と進んで関わり、優しくなれて、良い人間関係をつくっていくようになります。

右図は、リンゴを半分に切って片方には、きれいだね等の美しい言葉を、もう片方にはダメだね等のけなす言葉を1ヶ月かけ続けたのちの画像です。違いは明らかです。科学的な根拠はまだ証明されていませんが、同じ実験を何度も繰り返した末のデータなので、信憑性はあると考えられます。



ほめるのがいいことはわかっているけれど・・・そんな気持ちをもたれるのは当たり前です。私にも息子と娘がいます。ほめることを見つけるのに大変苦労をする二人です。親の知らないところで勝手に大きくなった感じで、放牧された動物のようで自由すぎる人間になってしまいました。そんな私が申し上げることは説得力に欠けますが、とても簡単で、子どもたちの自己肯定感を育む言葉があります。それが「ありがとう」です。

例えば「よくできたね」とほめるより、「ありがとう。助かったよ」と言われるのとでは、受け取る側の印象が違います。よくできたね、は目線が上で、ありがとうは横から目線だからでしょうか。

思春期のお子さんなどは、下手に褒めても「ふん、そんな当たり前のことで褒められたくないよ」という場合もあります。しかし、そういう場合でも間違いなく届く褒め言葉は「ありがとう」です。自分は必要とされている、人の役に立っているという気持ちをもつことに必ず繋がります。ちょっとしたことでもいいのです。右のものを左にやった、いつも注意されていることがたまたまできた、それもないときは今何時？今日は何曜日だっけ！？簡単なことを聞いて教えてくれたら「ありがとう、助かったよ」でもいいと思います。

そんな何気ない日常の中で、お子さんにありがとうをたくさん伝えてください。簡単なことでもできれば感謝される、そんな経験の積み重ねは自己肯定感を必ず向上させます。私も親なので、自分の子どもはかわいくただそこにいてくれるだけでありがとうという気持ちになります。今日も元気でいてくれてありがとう、それを伝えるだけでも自己肯定感は必ず向上し、お子さんの話を聴く機会にも繋がります。

そして、これは私だけかもしれませんが、けなす言葉を使う自分よりもありがとうと言える、思える自分の方がなんか幸せです。子どもにありがとうと伝えることは、本当は自分のためなんじゃないか、とも思います。

大切な、かけがえのないお子さんをお預かりしています。本校の校訓である「なかよく かしく たくましく」、そんな力を身につけて、自己肯定感を高めながら一人ひとりが幸せになってほしいと願っています。

玉幡小学校の教育目標の実現には保護者の皆様のお力、連携が欠かせません。今後とも変わらぬご理解ご支援を切にお願いしまして、学校長のあいさつといたします。』

OPTA 定期総会での学校長あいさつを掲載させていただきました。子どもたちの健やかな成長のために、学校側でも必要に応じて保護者の皆様と連絡をとらせていただくことがあります。逆に保護者の皆様も小さな疑問や質問、腑に落ちないことが少しでもありましたら遠慮せずに学校及び担任に連絡をお願いいたします。玉小らしく、学校・家庭・地域で手を取り合って子どもたちを育てていきましょう。なにとぞよろしく願いいたします。